英語学英米文学専攻

- 1. 専修科目, 授業科目, 単位数, 担当者及び主研究内容等
- ※ 担当者氏名前の○印は、令和6年度の学生募集担当者を表します。

専修科目	授 業 科	I	単位数	担当者	主研究内容等
英語学	英 語 学 演	習 I	4又 は8	教授 博士 (学術) ○毛利 史生	意味論,統語論,語用論のインターフェイス関連に関わる言語現象を取り上げ,理論言語学的知見に基づきアプローチしています。特に名詞句関連の現象,複数性,定性,スコープ現象などを取り上げ,インターフェイス理論に基づいた研究に従事しています。
	英語学特殊講	義 I a	2		英語,日本語,中国語を主なる対象にした理論的言語学研究を行っています。特に,統語論と意味論のインターフェイス領域に絡む言語現象を取り上げています。具体的には,名詞の複数性や定性,不変化詞,量化表現,比較表現などに対し理論的にアプローチしています。同時に理論的研究で得られた知見を基に,第2言語習得研究にも従事しています。母国語の文法体系がもたらす外国語学習の影響や遅延の原因の解明にも取り組んでいます。
	英語学特殊講	義 I b	2		
	英語 学演 英語学特殊講 英語学特殊講		4 又 は8 2 2	教授 博士(言語学) 〇山田 英二	音韻論・音声学。生成文法理論の枠組みで、英語の音声・音韻構造を研究する。特に、強勢配置メカニズムなどのプロソディに関わる諸問題及び音節構造、素性階層構造などの研究を行う。
	英 語 学 演	習Ⅲ	4又 は8	教授 Ph.D ○ハウ, スティー ブン マーク	In this advanced course, we will study language variation and change, focusing in particular on the history and social variation of English. We will study Old, Middle and Modern English, and how and why English has changed over time. Our topics will include sound, lexical and grammatical change. We will also study sociolinguistics to understand how and why English varies socially. Our topics will include language and class, African-American English, and language and gender. We will include not only English in Britain but also English in America and Australia.
	英語学特殊講英語学特殊講		2		My research areas are (1) examination of the development of particles for saying 'yes' and 'no' in English and other languages; (2) study of basic or primary universals of human language; (3) comparison of African (Khoisan) and Pre-Columbian (American) languages-the two language areas separated most in distance-to help
	英語学演 英語学特殊講		4 又 は8 2 2	教授 ○久保 善宏	develop a theory of basic or primary universals. 統語論:生成文法理論の道具立てによる英語の普遍性と個別性に関する統語的研究
	英語学演英語学特殊講英語学特殊講	習 V 義 V a	4 又 は8 2 2	准教授 博士(学術) 〇竹安 大	英語と日本語を主な対象として,実験的手法に基づく音声学・音韻論の研究を行っています。近年は音節の時間制御について音声と知覚の対応関係という観点から分析を行っているほか,英語からの借用語に関する研究にも取り組んでいます。
	英語学特別	講義I	2	非常勤講師 窪薗 晴夫	【令和5年度開講】
	英語教育学	演 習 I	4又 は8	教授 ○奥田 裕司	英語科教育法の実践的研究を行っています。小学校、中学校、高等学校の授業の中で、効率かつ効果的に英語運用能力を養うことができる教授法の研究を進めています。特に、実際の授業展開の中で補助としてICTを活用し効果を上げる教授法や教材に焦点を当てています。
	英語教育学特殊	講義Ia	2		
	英語教育学特殊	講義Ib	2		
	英語教育学	演 習 Ⅱ	4又 は8	教授 ○福田 慎司	外国語としての英語をどのように学べば学習者が効果的 に習得できるかについて、方法論だけでなく、評価論、教 材論、授業論、第二言語習得理論など幅広い視点から研究 していきます。また、世界で行われている英語教育との比 較などを通して、英語教育についての研究課題を掘り下げ
	英語教育学特殊	講義Ⅱa	2		
	英語教育学特殊	講義Ⅱb	2		秋なこを通じて、

専修科目	授 業 科 目	単位数	担当者	主研究内容等	
英文学	英文学特殊講義 I a	2	准教授 博士(文学)	チャールズ・ディケンズを中心とする19世紀イギリス小説の分析をおこないます。時にOEDなども使用し、作品を一語一句疎かにすることなく読解することに加え、作品の社会的・文化的背景、及び作者自身の伝記的な情報も併せて考察することで、文学テキストが内包する多様な意味を解読することを試みます。	
	英文学特殊講義 I b	2	渡部智也		
	英文学演習Ⅲ	4又 は8	教授	本演習ではウィリアム・シェイクスピアを中心とする近代 初期イギリス演劇をテーマとして、当時の歴史、宗教、文化 を踏まえた専門性の高い演習を行う。近代初期英語と区分さ れる古典的な英語を読解し、近代から現代に至る多様な批評 を理解できるよう研究指導を行う。	
	英文学特殊講義 Ⅲ a	2	○鶴田 学		
	英文学特殊講義 Ⅲ b	2			
	英文学演習 V	4又 は8	教授	イギリス・ロマン派の文学を中心に 18世紀から 19世紀の文学を文化的・社会的背景において理解することを目指して研究しています。授業では、William Blake、William Wordsworth、Samuel Taylor Coleridgeの作品を新歴史主義や脱構築などの視点から批評的に読み、論文にまとめていく方法を身につけていきます。	
	英文学特殊講義 V a	2	博士(文学)		
	英文学特殊講義Vb	2			
	英文学特別講義Ⅰ	2	非常勤講師 J. T. ハッチャー	【令和5年度休講】	
	米 文 学 演 習 I	4又 は8	教授 博士 (文学)	広くはアメリカン・ルネッサンス期の文学、狭くはハーマン・メルヴィルの人種表象についての研究。主に先住民強制移住や土地収奪を中心とした北米史と絡めて、文化・歴史がメルヴィル文学にどのように表れ出ているかを中心	
	米文学特殊講義 I a	2	○大島由起子		
	米文学特殊講義 I b	2		に探っている。	
米文学	米文学特殊講義Ⅱ a	2	教授	アメリカン・ルネサンス期以降の19世紀アメリカ文化・文学における身体的差異表象について研究しています。本授業ではこの時代の小説を取り上げ、作品の歴史的・文化的背景について調べ、かつ作品に関する様々な批評論文を読みつつ、独自の視点で分析をすることによって、文学研究の基礎を築きます。文学潮流の違いを知るため、II a、II bでは異なる作品を考察します。	
	米文学特殊講義Ⅱ b	2	秋好 礼子		
	米 文 学 演 習 Ⅲ 米文学特殊講義Ⅲ a	4 又 は8 2	教授 Ph.D ○ジェファソン	Children's Literature, Fantasy, Science Fiction, and Popular Culture through novels, poetry, picture books, comics, movies, and so on.	
	* 文学特殊講義 ■ b	2	M.ピーターズ		

その他の科目(担当者未定科目)

授 業 科 目	単位数 授業科目	単位数
英 語 学 特 別 講 義 Ⅱ	2 英文学特殊講義 IV a	2
英文学演習Ⅰ	4又 英文学特殊講義 IV b	2
7 7 7 11 1	英文学特別講義Ⅱ	2
英 文 学 演 習 Ⅱ	4又 は8 米 文 学 演 習 Ⅱ	4 又 は 8
英文学特殊講義 II a	2 米文学特別講義 I	2
英 文 学 特 殊 講 義 Ⅱ b	2 米 文 学 特 別 講 義 Ⅱ	2
英文学演習Ⅳ	4X 148	

2. 履 修 方 法

- ① 学生の標準修業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計32単位以上を修得しなければならない。
- ② 授業科目のうちから、一つの特殊講義及び演習を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- ③ 専修科目の演習担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その 指導を受けなければならない。
- ④ 専修科目の演習8単位及び講義4単位、合計12単位を必修科目として履修し、その他の授業科目のうちから 20単位以上を選択科目として履修しなければならない。
- ⑤ 専修科目の演習は2年間8単位の履修を原則とするが、専修科目としない演習は、選択科目として1年間4単位の履修を認めることがある。
- ⑥ 指導教員が当該学生の研究上特に必要と認めた場合は、第4項の規定にかかわらず、他の専攻博士課程前期の授業科目を、8単位を限度に選択科目として履修することができる。
- ⑦ 修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。